

ほんわ館だより

令和7年12月発行
第159号

中山町立図書館
開館 10:00～19:00
休館日 12/1.8.15.22
29.30.31



12月の展示コーナー



- ★おすすめコーナー 『年末年始～楽しみいろいろ～』 ★2階掲示板
★児童書コーナー 『変わった事典・図鑑』
・絵本コーナー 『12月はおおいそがし』『おやすみなさい』
・円形コーナー 『作ってあそぼう』
・空中図書コーナー 『絵探し絵本』 ・小学生おすすめコーナー 『子供の科学』

『ほんわ館まつり2025』
たくさんのご来館ありがとうございました!!



10月25日(土)ほんわ館まつりが開催されました。
「射的で本(ボン)」「クラリネット&ピアノ秋のコンサート」や「もふもふシマエナガを作ろう」ワークショップなど、たくさんのイベントがありみんなで楽しいひと時を過ごしました。



楽しかったね♪

クリスマスワークショップ&おはなし会のお知らせ

今月はおはなし会の中で工作をします♪

♡日時: 12月13日(土)11:00
♡場所: ほんわ館 多目的室
どなたでも参加できます♪時間までにお越しください

詳しい内容はチラシや
ポスター・ほんわ館ホームページをご覧ください♪



新着 最近入った本を紹介します

※ここに紹介した他にもたくさん入っています

【児童書(えほん)】



◀『きれてる』
鈴木 のりたけ/作
ポプラ社



◀『たねはいのちのおわりとはじまり』
鈴木 純/著
ブロンズ新社



◀『いえで
します!』
浜田 桂子/作
理論社

【郷土書】書名	編著者名	【児童書】書名	編著者名
柳沢集落の旅日記	西塔 孝夫/著	きみが知ってる恐竜のこと、ぜんぶまちがい?	ニック クランプトン/著
伊勢道中記	西塔 孝夫/著	名探偵コナン&理科探偵団	青山 剛昌/原作
【文芸書】書名	編著者名	ぜつめつしたいきもの	今泉 忠明/指導
変な地図	雨穴/著	みんなの居場所	白矢 三恵/作
魔法律学校の麗人執事	新川 帆立/著	じゃがいも(はじめてのサイエンス)	セシル ジュグラ/文
火星の女王	小川 哲/著	【教養書】書名	編著者名
HACK	橘 玲/著	余り毛糸の活用手帖	成美堂出版編集部/編
筒井康隆エッセイ集成	筒井 康隆/著	大谷のバットはいくら?	熊崎 敬/著
ペンギンにさよならをいう方法	ヘイゼル・プライア/著	石原家の兄弟	石原 伸晃・良純/著
高宮麻綾の退職願	城戸川 りょう/著	今さら聞けない日本政治の超基本	朝日新聞社/編
さよならジャバウォック	伊坂 幸太郎/著	仕事を頑張る人の温泉術	永井 千晴/著
絶縁病棟	垣谷 美雨/著	人と人とのにんまりする話	小澤 俊夫/監修
志記 1 遠い夜明け	高田 郁/著	道草ワンダーランド	多田 多恵子/著
わかりますう?	林 真理子/著	すばらしいクラシック音楽	車田 和寿/著

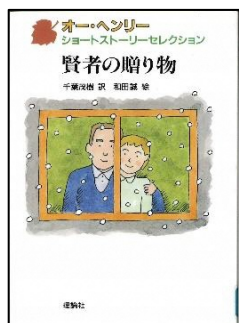


本の歳時記



クリスマスの贈物

クリスマス・イブの夜、世界中にプレゼントを配るサンタクロースは、フィンランドのラップランドに住んでいる（諸説あり）と言われています。遥か7,500kmも離れた北欧の地から、トナカイの引く橇に乗りプレゼントを山積みにしてやってきます。ところで、フィンランドに「ポロクセマ」という距離を表す言葉があります。トナカイが休憩なしで疲れずに移動できる距離のことで、それは約7.5kmとのこと。イブの夜に間に合うよう、プレゼントの願いは早目が良いようです。



『賢者の贈り物』

『賢者の贈り物』（オー・ヘンリー//著 千葉茂樹//訳 和田誠//絵 理論社）

クリスマスの贈物と言えばこの物語を思い浮かべる人も多いことでしょう。貧しい若い夫婦、ジムとデラの物語です。明日はクリスマスだというのに、デラは愛しい夫にふさわしいプレゼントを買うお金がありません。一方ジムは、デラがずっと欲しがっていた美しい櫛を買うために、お金の工面をしようと思っていました。そして、二人には自慢の宝物があります。ジムには祖父、父と引き継いだ金時計が、デラは自身の垂麻色の長い髪が…。クリスマスイブの夜に読み返すと、改めて身近にいて同じ思いでいる大切な存在に気づかせてもらえるかもしれません。



『クリスマスキャロル』

『クリスマス・キャロル』（チャールズ・ディケンズ//原作 プレット・ヘルキャスト//絵 三辺律子//訳 光村教育図書）

これは、死んだマーレーからの贈物か？主人公スクルージは、強欲で金儲け一筋の商売をしている頑固な老人。彼にとってのクリスマスは、「人の懐から金をかすめ取る言い訳に過ぎない」と思っています。クリスマス・イブのその日も、みんなと一緒に楽しもうと誘いに来た甥のフレッドを追いついてしまいます。ところがその夜、スクルージの前に3人の幽霊が表れて不思議な体験をさせられます。そして、金銭に固執する主人公が、幽霊たちの導きで人生観を大きく変えていきます。大人も子どもも楽しめる、クリスマスの不朽の作品を絵本でどうぞ。



『キャロリング』

『キャロリング』（有川浩//著 幻冬舎）

クリスマスに倒産する子供服メーカーに勤務する大和俊介は、併設する学童保育所で働く元恋人の柊子に密かな想いを残しています。二人は、この学童に通う小学生の航平から、離婚しそうな両親を仲直りさせてほしいと頼られます。そして、航平の父親を説得しているうちに、父親が働く整骨院のトラブルに巻き込まれてしまい…。元恋人や学童の小学生、そして心優しいチンピラたち。クリスマスにもたらされる、ささやかな奇跡の連鎖を描く心温まるストーリー。登場人物の誰もが幸せになって欲しいと願ってしまう、クリスマス前に読みたい一冊です。

ほんわ館で読まれています

『ヨルダンの本屋に住んでみた』

フウ//著 産業編集センター



アラビア語すら知らないのに、ネットで見つけたヨルダンの本屋に「働かせてください!」とメールを送った。返事は「OK」のみ。たった2文字を頼りに、渡航してみると…。カオスで愉快なヨルダン破天荒滞在記。

『女王さまの休日』

古内一絵//著 中央公論新社



終わりなんかじゃない。私たちの旅は、まだ始まったばかりだ。シャル、ジャダ、さくらが訪れたのは、台湾。食、物、歴史、そして人との新たな出会いがあり…。

『サトウさんの友達』

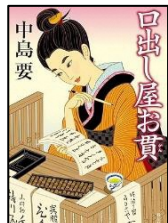
益田 ミリ//著 マガジンハウス



気づけば友達が減りつつある年頃のサトウさん。職場では居心地の悪さを感じなくもない。母の健康状態にも不安を感じる日々。そんなある日、ゲーム「あつまれどうぶつの森」に出会い…。じわじわ沁みる描き下ろし漫画。

『口出し屋お貫』

中島 要//著 祥伝社



3度目の奉公先から暇を取ったおれんは、昔馴染みの口入れ屋を訪ねた。先代から店を継いだ孫のお貫が、奉公先を辞めた経緯を語らせるのに反発して、おれんは店を飛び出すが…。